※令和４年度以降入学生用

学校番号	1008

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	メディア表現	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	文書デザイン模擬問題集（日本情報処理検定協会） ホームページ作成（日本情報処理検定協会）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

コンピュータによる表現メディアの編集と表現に関する知識と技術を学びます。
授業は実技を中心としたもので、作品作りを通じて知識と技術の習得を目指します。

２　学習の到達目標

・ワープソフトを活用し、実社会の様々な場面で使用される文書を作成する技能を身につける。
・ホームページ作成ソフトを使って、Ｗｅｂページを作成する技能を身につける。
・デジタルデータの特性を理解し、活用する技能を身につける。
・作画について学び、アニメーションを作ることができる。
・著作権などの知的財産を正しく取り扱う知識を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・コンピュータに関する知識を学び、理解することができる。 ・表現の種類や方法を学び、情報や事柄に応じて、コンピュータやアプリケーションを適切に使いこなすことができる。	・作品作成を通して自分の考えやアイディアを積極的に表現しようとする姿勢。 ・自分のアイディアを適切に作品作成に反映させることができる。 ・作成時間を考慮して、作品を作ることができる。	・毎時間の作成時間を有効に使うことができる。 ・課題を授業内に完成しなかった作品や達成できなかった目標に対して、授業時間外の時間を活用し、達成させることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	文字と図・情報を整理する	・文字や文書作成について学ぶ。 ・文書の構成、目的に合わせた文書デザインについて学ぶ。 ・コンピュータを使用するための基本スキルをみにつける。	a: 実社会で活用される様々な文書の作成ができる。文書デザインが使用される場面を想像し、場面に応じた文書作成ができる。 b:ワープロの機能を活用し表現できる。作品を考察し、効果的なデザインを学び自らの作品作りに活用できる。 c: 毎時間の作成時間を有効に使うことができる。授業内に完成しなかった部分や達成できなかった目標に対して、授業時間外の時間を活用し、達成させることができる。	成果物 授業 プリント 小テスト	成果物 授業 プリント 小テスト	成果物 自己評価
2学期	デジタル情報の活用・ウエブページーション	・ホームページ作成ソフトを使用して、Webページを作成する技能を身につける。 ・デジタルデータの特性について理解し、活用する技能を身につける ・アニメーション作成ソフトを使い、アニメーションを作る。 ・著作権などの知的財産を正しく取り扱う知識を身につける。	a: ホームページ作成ソフトの基本操作ができる。著作権などの知的財産権を正しく理解しウェブページの作成ができる。 b: デジタルデータの特性を活かし、活用することができる。絵コンテを元にして、アニメーション作成ができている。 c: 毎時間の作成時間を有効に使うことができる。授業内に完成しなかった部分や達成できなかった目標に対して、授業時間外の時間を活用し、達成させることができる。	成果物 授業 プリント 小テスト	成果物 授業 プリント 小テスト	成果物 自己評価 相互評価
3学期	オリジナルwebサイトの作成	・メディアの特性を活かし、コンピュータを用いた作品を作成する。 ・日常の中に問題を発見し、その問題解決に向けてのプロセスにおいて、コンピュータを活用できる力を身につける。	a: ホームページ作成ソフトの基本操作ができる。著作権などの知的財産権を正しく理解しウェブページの作成ができる。 b: 身の回りから問題を発見し、その解決にむけて、授業を通じて学んだ問題解決の考え方と、それを解決するためのプログラミングスキルを駆使して、オリジナル Web サイトの制作ができる。 c: 毎時間の作成時間を有効に使うことができる。授業内に完成しなかった部分や達成できなかった目標に対して、授業時間外の時間を活用し、達成させることができる。	成果物 授業 プリント 小テスト	成果物 授業 プリント 小テスト	成果物 自己評価 相互評価 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度